

## NPO 自立支援センター ふるさとの会

2011.02月  
【第2号】



ふるさとの会のメールマガジンをご愛読いただき、誠にありがとうございます。  
今後もふるさとの会の活動内容を定期的に情報発信させていただきたいと存じます。  
ご不要の場合はお手数ですがご返信くださいますようお願いいたします。

### INDEX

1. 厚生労働省への要望書「単身・低所得高齢者の生活実態の把握と日常生活支援サービスの制度化に関する要望書」
2. NPO釜ヶ崎支援機構、NPO新宿ホームレス支援機構、NPOふるさとの会～釜ヶ崎・新宿・山谷からの報告～
3. 「向島5丁目ハウス」開設
4. 地域イベント「大江戸博物館見学」

### 1. 厚生労働省への要望書「単身・低所得高齢者の生活実態の把握と日常生活支援サービスの制度化に関する要望書」

当会ホームページの「提言」コーナーに本文が掲載されていますのでご参照ください。

### 2. NPO釜ヶ崎支援機構、NPO新宿ホームレス支援機構、NPOふるさとの会 ～釜ヶ崎・新宿・山谷からの報告～



例年どおり、2月に遅めの新年会を行いました。今年は、大阪のNPO釜ヶ崎支援機構沖野副代表、新宿のNPO新宿ホームレス支援機構笠井代表をお招きして、当会佐久間代表理事を含めて3法人よってい談を行いました。

今回、特に大きなテーマとして取り上げたのは若年者の支援についてです。釜ヶ崎支援機構の沖野副理事長によると、いわゆる建設日雇いホームレスのように重たいスポーツバッグを担ぐ代わりにリュックサックだけ背負ってあちこち泊まり歩く若い人がここ数年で増えたとのことでした。こうした人たちに対してどのような支援が可能なのか、それが今回のテーマでした。

各法人では緊急雇用事業等を行政より受託するなどして若年の人たちに住まいと雇用を提供しています。こうした事業をする過程でこれまで頻りにテーマになっていたのは、どんな資格や訓練が若い人には有効かといったものでした。しかし、細かなご報告はさておき、い談で各発表者がこだわっていたのは「つながり」の重要性でした。たとえ継続性が保証されない一時的な委託事業を通じた「つながり」であっても、関わった人の心の動きに寄り添うことで何とかその人にとって前向きな人生になるような支援をしたいと日々苦闘している様が強く伝わってきました。

現在、国や自治体では「絆再生支援事業」として若年者の地域定着支援事業を始めています。一時的な貧困対策で終わることがないように、より有効なプログラムの提案等を行っていきたいとおもいます。特に、貧困や都市問題が集中する釜ヶ崎、新宿、山谷という日本を代表する地域からしっかりとメッセージを国や自治体に対して発信できるよう今後もお互い密な連携をしていくことが求められていると私たち3法人改めて確認することができました。

### 3. 「向島5丁目ハウス」開設

入所者のAさんが昨年12月に開設したばかりの向島5丁目ハウスに入所して約1カ月が経ちました。関東の自動車工場で働いていたが派遣切りに会い、失業保険を受けた後、再就職したが事故で怪我をして働けなくなり生活保護を受給することになったということです。ここはプライベートを保てる個室もあり、清潔で居心地が良いので安心して過ごせると感想を述べてくれました。向島5丁目ハウスは隅田川のすぐそば、桜並木も見えそうな日当たりの良い立地にあります。定員12名、1月末で11名の入所者(30代～60代)が共同生活を送っています。日常生活は自立できている方がアパートへ移る前の準備段階としてここに入所しています。

「今後、一人でアパート生活をおくるのが前提なので、掃除や夕食の準備は自主性を大切に、今のところ当番制ではありません。入所者による月1回のミーティングで問題を話し合うことにしています。」という施設責任者の説明がありました。そのせいか館内のムードは、いわゆる施設的管理に縛られた感じがしませんでした。



緊急に入所し短期間しか利用しない方もいるので、ニーズに合わせ対応し、ここに入所された皆さんが、次の生活の場にスムーズに移行できるように様々な支援を行っています。ゆるやかに生活を見守る地域生活支援や若い人にとって要となる仕事の支援が大きな柱になると思います。

冒頭に登場していただいたAさんは、取材当日もこれから面接に行くということでした。向島5丁目ハウスを起点に新しい生活を切り拓いて欲しいと願います。(石田美枝)

#### 4. 地域イベント「大江戸博物館見学」

寒さが厳しい冬の日、部屋に閉じこもりがちだった皆さんと一緒に両国の江戸東京博物館に出かけました。今回はふるさとの会の地域生活支援センターだけでなく、宿泊所の利用者の方も参加しての見学会になりました。電動車いすでの参加もあり、下見段階で交通機関などのチェックを行いました。

江戸東京博物館は江戸時代から明治以降の東京の歴史と文化について楽しみながら学べる博物館です。実物大の日本橋など、広大なスペースに趣向を凝らした展示物が並んでいるので、ゆっくり見ると2時間はかかる見ごたえのある内容でした。参加者の皆さんはそれぞれ自分のペースで興味深そうに見学をしていました。「よく、近くは通るけど中に入ったのは初めてで良い機会だった。」と喜んでくださいました。(石田美枝)



発行元：特定非営利活動法人 自立支援センターふるさとの会  
〒111-0031 東京都台東区千束4-39-6  
TEL: 03-3876-8150 FAX: 03-3876-7950  
E-mail : [hurusato@d5.dion.ne.jp](mailto:hurusato@d5.dion.ne.jp)  
HP : <http://www.d5.dion.ne.jp/~hurusato/>